

小中一貫教育へ向けての取組 ～中学校説明会・乗り入れ授業（12/11・12）

～

東部中学校の先生が来校し、6年生向けの中学校説明会が行われました。今年度も、小中一貫教育も見据え、2校時から各学級へ授業サポート（T2）として入り、乗り入れ授業を行いました。

1組	算数 (4校時)	担任：A・K T2：S・K（東部中：数学）
	2学期のまとめ～算数を使って考えよう～	
2組	理科 (2校時)	担任：O・K T2：I・A（東部中：理科）
	水よう液～発展的な学習「中和」～	
3組	社会 (4校時)	担任：Y・T T2：H・A（東部中：社会）
	「暮らしの中の政治」～国会のはたらき～	
6年	体育 (5校時)	T1：O・K T2：I・K（東部中：体育）
	器械体操～マット運動～	



T1（担任）とT2でノート指導



体の支え方について指導するT2

12日、たんぼぼ学級にはM・M先生がサポートに



6校時、音楽室にて中学校生活についてのガイダンスを行いました。中学校生活についての不安や疑問を事前に調査したことも答えながら、スライドを通して説明がありました。先生から中学校入学にあたって身につけたい力や準備について激励され、子どもたちは皆、真剣なまなざしと姿勢でその期待にこたえていました。



E先生、K先生による中学校生活についてのプレゼン

平成32年学習指導要領改定へ向けて ～外国語教育の充実に向けて～

5・6年生は「読む」「書く」を含む外国語科で週2コマ（70時間）、初歩的な英語の運用能力を養います。3・4年生は「外国語活動」で週1コマ（35時間）、英語の音声や表現に慣れさせ、コミュニケーション能力を養います。グローバル化の進展の中、英語力の向上は日本の将来にとって重要な課題と捉え、準備を進めています。先月お知らせしました「JICA 研修員学校訪問」も、日頃の外国語活動で得たコミュニケーション力を試す絶好の機会と捉え、取り組んだ国際交流授業です。

平成30年度は、移行措置として、5・6年生の外国語活動に外国語科の指導内容の一部を15時間プラスして50時間。3・4年



K先生・K ALTによるコミュニケーション力を高める授業

生は、英語の音声やリズムに慣れ親しむなどの外国語活動を 15 時間行います。